

徳島県地域公共交通計画の自己評価

5. 計画の推進

各評価指標に対して以下の目標値を設定し、PDCA サイクルを運用しながら、効率的・効果的な施策展開を図ります。

また、「県」「市町村」「国」「交通事業者」「県民」などの関係機関がそれぞれの役割を担うとともに、連携・協働して取り組んでいきます。

表 各評価指標の目標値

評価指標			現況値	目標値 (R8)	目標値設定の考え方
成果指標	■指標A 幹線系統バスの利用者数 (走行台キロあたり)	全系統の「輸送人員／実車走行キロ」より算出	0.30人/km (R3)	0.40人/km以上	・コロナ感染症拡大前 (R1) の水準に、 人口減少を加味
	■指標B 幹線系統バスの事業収支	収支率＝収入額(経常収益) ／支出額(経常費用)	36% (R3)	53%以上	・コロナ感染症拡大前 (R1) の水準に、 人口減少を加味
	■指標C 幹線系統バスへの 公的資金投入額	国・県・市町村による幹線系統バス への公的資金投入額	561百万円 (R3)	409百万円以下	※運行に要する費用は 現状維持が前提
進捗管理指標	1 公共交通の最適化	■指標 1-1 幹線系統バスの利用者数 (走行台キロあたり、系統別)	系統別の「輸送人員／実車走行キロ」より算出	本編 表9.5参照	
		■指標 1-2 幹線系統バスによる 広域移動者数	市町村をまたいで移動する 幹線系統バス利用者数 (平日)	2,300人 (R3)	3,100人以上
		■指標 1-3 フィーダー系統の鉄道、 幹線系統バスへの接続便数	フィーダー系統のうち、20分以内に 接続している便数	53便	70便以上
		■指標 1-4 乗り継ぎの平均待ち時間	フィーダー系統と鉄道・幹線系統バスとの 乗り継ぎにおける平均待ち時間	22分	20分以内
		■指標 1-5 新たな運行形態の導入件数	デマンド型交通、自家用有償旅客運送、 一般乗車可能な送迎バス、水素燃料電池 バスなどの導入件数	3件 (R3)	10件以上 (R4～R8の5年間)
	2 利便性の向上	■指標 2-1 キャッシュレス決済の 利用プロジェクト件数	キャッシュレス決済に関する実証実験等の 実施数・導入路線数	3件 (R3)	5件以上 (R4～R8の5年間)
		■指標 2-2 交通結節点の 整備実施箇所数	待合環境整備、情報提供、 駐車場・駐輪場整備など	6箇所 (R3)	25箇所以上 (R4～R8の5年間)
		■指標 2-3 情報提供における システム実装率	公共交通のオープンデータ化 実施率	100% (R3)	100%
		■指標 2-4 ノンステップバスの導入割合	路線バスにおけるノンステップバス 導入割合	80% (R3)	90%
	3 利用促進	■指標 3-1 訪日外国人観光客向け フリー乗車券の販売枚数	TOKUSHIMA BUS PASS の販売枚数	4枚 (R2)	410枚以上
		■指標 3-2 企画乗車券等の販売枚数	1日フリー乗車券の販売枚数	6,128枚 (R3)	8,300枚以上
			夏休み子ども1日フリー乗車券 の販売枚数	3,338枚 (R3)	4,500枚以上
		■指標 3-3 公共交通利用促進イベント 等の実施回数	利用促進イベント・普及啓発 事業の開催・実施回数	3回 (R3)	年間3回以上 (R4～R8)
		■指標 3-4 地域公共交通計画策定 市町村数	－	6市町村 (R3時点)	10市町村以上 (R8時点)

【概要版】徳島県地域公共交通計画

1. 計画策定の趣旨

本県では、地域公共交通に関係する計画のよりどころとなる基本的な方向性を示した「次世代地域公共交通ビジョン」を 2019（令和元）年 12 月に策定し、それに基づく取組として、鉄道のパターンダイヤ化、バスと鉄道との乗継連携、バス路線の重複解消などを進めた結果、一部区間や駅の利用者数が増加するなど一定の成果が上がっています。

本計画は、「次世代地域公共交通ビジョン」で示されている「持続可能な公共交通ネットワークの構築」を目的として、特に、県民にとって一番身近な移動手段である「幹線系統バス」に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響や今後の見通し、公共交通に関する法律改正や技術革新等の最新動向も踏まえながら策定するものです。

2. 計画の区域・期間、位置づけ

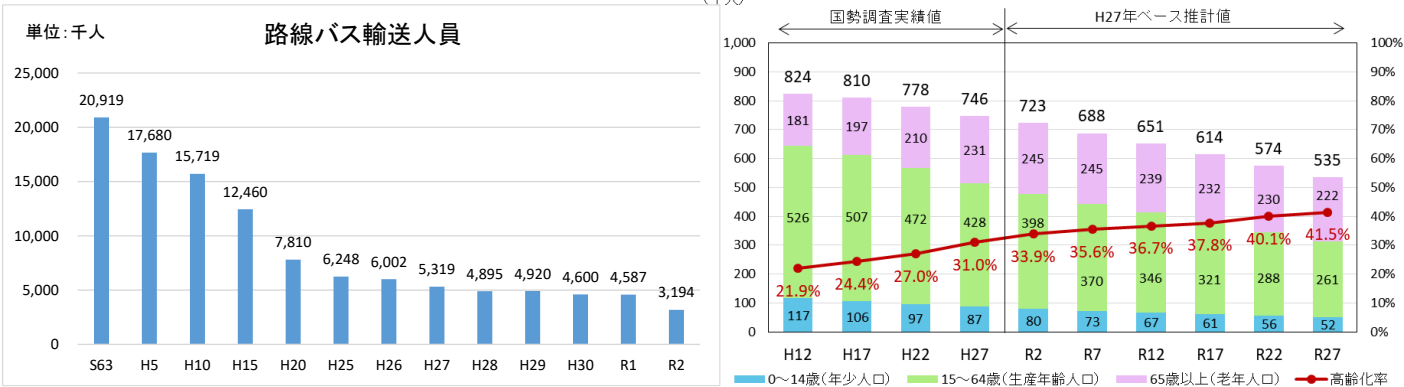
計画の区域は徳島県全域とし、計画期間は令和 4 年度～令和 8 年度の 5 年間とします。

本計画は、「徳島新未来創生総合計画」など本県の上位計画と整合を図るとともに、県内市町村の「地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画）」とも整合・連携を図っています。

3. 公共交通の現状と課題

県内におけるバスの輸送人員は、長期的に減少傾向が続いており、新型コロナウイルスの影響が顕在化した令和 2 年度は、さらに大幅に減少しています。今後は一層の人口減少、高齢化の進行が見込まれており、公共交通の持続性確保が喫緊の課題となっています。

そこで、次世代地域公共交通ビジョンで掲げている 3 つの柱である「公共交通の最適化」、「利便性の向上」、「利用促進」により一層取り組んでいく必要があります。



(出典：国土交通省四国運輸局「四国における運輸の動き」)

図 県内における路線バス輸送人員

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

図 徳島県の年齢 3 区分別人口推移

● 公共交通の最適化

鉄道や路線バスに加え、高速バスやデマンド型交通、公共交通以外の輸送手段、先進技術等の活用

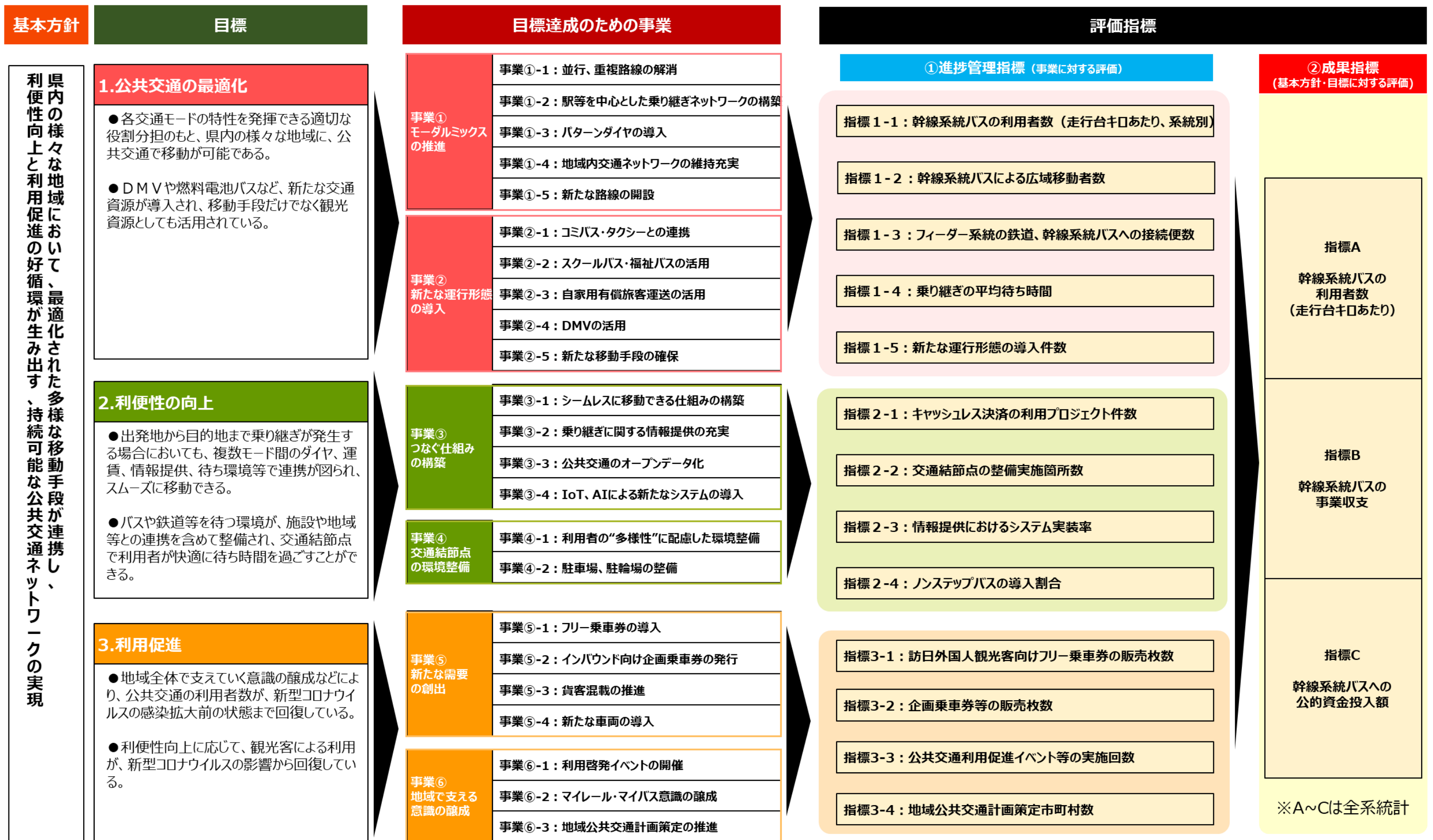
● 利便性の向上

最適化を図る多様な交通モード・路線間の結節強化（パターンダイヤ等）、待ち環境の充実

● 利用促進

地域全体で公共交通を支える意識の醸成、観光を含めた利用促進策や PR の充実

4. 計画の体系



評価指標			現況値	目標値（R8）	目標値設定 の考え方	実績値（R7） ※()内はR6実績	目標を達成するための取組	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	
成果指標	■指標A 幹線系統バスの利用者数 (走行台キロあたり)	全系統の「輸送人員／実車走行キロ」より算出	0.30人/km (R3)	0.40人/km以上	コロナ感染症拡大前(R1)の水準に、人口減少を加味	【実績値】 0.46人/km (0.42人/km) 【対象期間】 R6.10～R7.9	【公共交通の最適化】 ・地域自主運行バスの試験運行（徳島市多家良・八多地域） ・大麻町移動支援実証事業（鳴門市大麻地域） ・乗合タクシーの運行（三好市三野地域・井川地域） ・予約型乗合タクシー実証運行（阿南市岩脇地区） ・社会福祉協議会による買い物支援サービス（上板町） ・公共ライドシェア実証運行（海陽町穴喰地区） ・自動運転タクシーの実証運行（徳島県（鳴門市・松茂町）） 【利便性の向上】 ・キャッシュレス決済サービスの導入推進 ・ノンステップバスの導入推進 ・交通マップの改定作業 ・タクシー配車アプリの普及推進及び、空港ビル前予約タクシー乗り場案内サインの整備 【利用促進】 ・各種企画乗車券の販売 ・バスや鉄道の乗り方教室 ・「交通エコライフキャンペーン」の実施 など	・各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、幹線系統バスの各系統別の利用者数は大きく回復し、目標値を上回ると共に、コロナ前の水準以上の結果で着地している。 ・利用者数は増加傾向にあり、運賃改定による収入も増加しているが、燃油物価高騰などにより支出額は高止まりしている。公共交通の最適化に努めたものの厳しい収支状況が続いている。 ・利用者数はコロナ前の水準以上となり、公的資金投入額は改善しているものの、燃油物価高騰などの影響により厳しい収支状況が続いている。	・利用者数は各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、コロナ前の水準以上まで回復している。 ・しかし、燃油物価高騰などによる影響もあり、公共交通の最適化の取組などに努めたものの厳しい収支状況が続いている。 ・持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保のため、路線バスの利用実態を踏まえた再編を行うとともに、引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成などの利用促進や利便性向上などの取組を継続して実施し、さらなる利用者数の増加による数値の改善を目指す。	
	■指標B 幹線系統バスの事業収支	収支率＝収入額(経常収益) ／支出額(経常費用)	36% (R3)	53%以上	コロナ感染症拡大前(R1)の水準に、人口減少を加味 ※運行に要する費用は現状維持が前提	【実績値】 50% (42%) 【対象期間】 R6.10～R7.9				
	■指標C 幹線系統バスへの 公的資金投入額	国・県・市町村による幹線系統バスへの公的資金投入額	561百万円 (R3)	409百万円以下		【実績値】 452百万円 (525百万円) 【対象期間】 R6.10～R7.9				
進捗管理指標	1 公共交通の最適化	■指標 1-1 幹線系統バスの利用者数 (走行台キロあたり、系統別)	系統別の「輸送人員／実車走行キロ」より算出	別紙参照		コロナ感染症拡大前(R1)の水準に、人口減少を加味	【実績値】 別紙参照 【対象期間】 R6.10～R7.9	【公共交通の最適化】 ・地域自主運行バスの試験運行（徳島市多家良・八多地域） ・大麻町移動支援実証事業（鳴門市大麻地域） ・乗合タクシーの運行（三好市三野地域・井川地域） ・予約型乗合タクシー実証運行（阿南市岩脇地区） ・社会福祉協議会による買い物支援サービス（上板町） ・公共ライドシェア実証運行（海陽町穴喰地区） ・自動運転タクシーの実証運行（徳島県（鳴門市・松茂町）） 【利便性の向上】 ・キャッシュレス決済サービスの導入推進 ・ノンステップバスの導入推進 ・交通マップの改定作業 ・タクシー配車アプリの普及推進及び、空港ビル前予約タクシー乗り場案内サインの整備 【利用促進】 ・各種企画乗車券の販売 ・バスや鉄道の乗り方教室 ・「交通エコライフキャンペーン」の実施 など	・各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、幹線系統バスの各系統別の利用者数は大きく回復し、目標値を上回ると共に、コロナ前の水準以上の結果で着地している。	・利用者数は各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、コロナ前の水準以上まで回復している。 ・持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保のため、路線バスの利用実態を踏まえた再編を行うとともに、引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成などの利用促進や利便性向上などの取組を継続して実施し、さらなる利用者数の増加による数値の改善を目指す。
		■指標 1-2 幹線系統バスによる 広域移動者数	市町村をまたいで移動する 幹線系統バス利用者数（平日）	2,300人 (R3)	3,100人以上	コロナ感染症拡大前(R1)の水準に、人口減少を加味	【実績値】 2,565人 (2,535人) 【対象期間】 R6.10～R7.9	【利便性の向上】 ・キャッシュレス決済サービスの導入推進 ・ノンステップバスの導入推進 ・交通マップの改定作業 ・タクシー配車アプリの普及推進及び、空港ビル前予約タクシー乗り場案内サインの整備 【利用促進】 ・各種企画乗車券の販売 ・バスや鉄道の乗り方教室 ・「交通エコライフキャンペーン」の実施 など	・各種取組の実施などにより全体の利用者は回復基調であるものの、昨年度比較で利用者は横ばい。 (参考) 実績値 R3：2,252人、R4：2,297人 R5：2,647人、R6：2,535人 R7：2,565人	・利用者数は各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、コロナ前の水準以上まで回復しているものの、目標値には到達していない。 ・引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成などの利用促進や乗継環境向上などを継続して実施する。
		■指標 1-3 フィーダー系統の鉄道、 幹線系統バスへの接続便数	フィーダー系統のうち、20分以内に 接続している便数	53便	70便以上	8割程度の水準を目指す	【実績値】 68便 (67便) 【対象期間】 R8.4時点	・交通結節点を通過するコミバスの便数の増加 ・幹線系統バスの運行ダイヤの改正 ・鉄道におけるパターンダイヤ、タクトダイヤの継続実施	・利便性向上に向けた運行ダイヤの調整や運行経路の見直しを実施したが、幹線バスやコミバスの再編も影響し大幅な改善はなかった。	・運行ダイヤの調整をはじめ、引き続き利用者の利便性向上に向けた取組を実施する。
		■指標 1-4 乗り継ぎの平均待ち時間	フィーダー系統と鉄道・幹線系統バスとの 乗り継ぎにおける平均待ち時間	22分	20分以内	国の手引きにおける接続の定義に基づく	【実績値】 24分 (24分) 【対象期間】 R8.4時点	・「徳島県南部における共同経営計画」に基づく鉄道とバスの共同経営 ・JR牟岐線（牟岐駅～阿波海南駅間）におけるモーダルミックスによる通学利便性向上施策		
		■指標 1-5 新たな運行形態の導入件数	デマンド型交通、自家用有償旅客運送、 一般乗車可能な送迎バス、水素燃料電池バスなどの導入件数	3件 (R3)	10件以上 (R4～R8の5年間)	継続的に増加	【実績値】 22件 (累計) 【対象期間】 R4.4～R8.3	・地域自主運行バスの試験運行（徳島市多家良・八多地域） ・大麻町移動支援実証事業（鳴門市大麻地域） ・乗合タクシーの運行（三好市三野地域・井川地域） ・予約型乗合タクシー実証運行（阿南市岩脇地区） ・社会福祉協議会による買い物支援サービス（上板町） ・公共ライドシェア実証運行（海陽町穴喰地区） ・自動運転タクシーの実証運行（徳島県（鳴門市・松茂町））	・地域の実情に合わせた運行形態の導入や新たな実証運行が実施された。 (参考) 実績値 R4：3件、R5：6件、R6：7件 R7：6件	・新たな運行形態の導入等が順調に行われている。 ・各地域で実施されている運行形態を関係者間で共有し、地域にあった取組の実施に繋げる。

評価指標				現況値	目標値（R8）	目標値設定 の考え方	実績値（R7） ※（）内はR6実績	目標を達成するための取組	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
進 捗 管 理 指 標	2 利 便 性 の 向 上	■指標2-1 キャッシュレス決済の 利用プロジェクト件数	キャッシュレス決済に関する実証実験等の 実施数・導入路線数	3件 （R3）	5件以上 （R4～R8の5年間）	継続的に増加	【実績値】 7件（累計） 【対象期間】 R4.4～R8.3	・乗降時のキューッシュレス化による、利便向上を目的として、 交通系ICカードICOCAを導入 。（徳島バス・徳島バス南部・徳島市交通局） ・鳴門市地域バスにPayPayによる二次元コード決済を導入し、利用者の利便性を向上させる。 ・顔認証技術を活用した高齢者移動助成券のデジタルチケット化の運用実証を実施。（石井町）	・導入以降順調に利用率が伸びており、スムーズな降車による、停車時間の短縮などの効果があった。 ・各種紙式乗車券からの切り替えや乗継割引の充実など、利用者利便と運賃収受の効率化の両立を実施。 ・令和7年度の利用者総数は345人。（鳴門市） （参考）実績値 R4：2件、R5：1件、R6：1件 R7：3件	・利用状況のデータ化により、これまでより利用実態が鮮明にわかるようになったことで再編等に生かしていく。 ・ICOCAのマイナンバー連携について各自自治体に働きかけ、利用率の向上を図る。 ・引き続き、利用者の利便性向上に繋がるキャッシュレス決済の導入に向けた研究を継続する。 ・地域バス利用者に対してキャッシュレス決済導入の周知と普及活動に努める。
		■指標2-2 交通結節点の 整備実施箇所数	待合環境整備、情報提供、 駐車場・駐輪場整備など	6箇所 （R3）	25箇所以上 （R4～R8の5年間）	継続的に実施	【実績値】 25箇所（累計） 【対象期間】 R4.4.～R8.3	・交通マップの改定作業（小松島市、阿南市、鳴門市） ・ タクシー配車アプリの普及推進 及び、 空港ビル前予約タクシー乗り場案内サインの整備 （徳島県、徳島空港ビル）	・交通マップの改善やタクシー配車アプリの普及推進等による二次交通の改善により、利便性の向上につながった。 （参考）実績値 R4：6箇所、R5：12箇所、 R6：3箇所、R7：4箇所	・交通結節点の整備が順調に実施されている。 ・引き続き、利便性向上に向けた取組を推進する。
		■指標2-3 情報提供における システム実装率	公共交通のオープンデータ化 実施率	100% （R3）	100%	新設・再編系統を含め100% 維持	【実績値】 100%（100%） 【対象期間】 R7.4～R8.3	・ダイヤ改正や路線変更にあわせ、オープンデータ情報を更新	・利用者の混乱を招かないよう、ダイヤ改正や路線変更などがあった場合は、オープンデータ情報の更新が適切に行われた。	・オープンデータ情報の更新が順調に実施されている。 ・引き続き、適切に情報を更新する。
		■指標2-4 ノンステップバスの導入割合	路線バスにおけるノンステップバス 導入割合	80% （R3）	90%	上位計画における目標（年2% 増）を踏襲	【実績値】 92.2%(91.9%) 【対象期間】 R7.4～R8.3	・ノンステップバス車両を導入	・利用者の利便性向上を図るため、ノンステップバスの導入が進められた。	・ノンステップバスの導入が順調に実施されている。 ・引き続き、ノンステップバスの導入を推進する。
	3 利 用 促 進	■指標3-1 訪日外国人観光客向け フリー乗車券の販売枚数	TOKUSHIMA BUS PASS の販売枚数	4枚 （R2）	410枚以上	コロナ感染症拡大前(R1)の水 準に回復	【実績値】 1,037枚 （849枚） 【対象期間】 R7.4～R8.3	・訪日外国人観光客向けフリー乗車券（TOKUSHIMA BUS PASS）を販売	・国際定期便の就航などによる訪日外国人旅行者の増加に伴い販売枚数も増加したと考えられる。	・国際定期便の就航などによる訪日外国人旅行者の増加により、順調に推移している。 ・訪日外国人観光客向けフリー乗車券の販売を継続する。
		■指標3-2 企画乗車券等の販売枚数	1日フリー乗車券の販売枚数	6,128枚 （R3）	8,300枚以上	コロナ感染症拡大前(R1)の水 準に、人口減少を加味 ※1日フリー乗車券は、夏休み こども1日フリー乗車券の割合 で設定（R2販売開始のため）	【実績値】 19,026枚 （19,356枚） 【対象期間】 R7.4～R8.3	・1日フリー乗車券を販売	・各種取組の継続的な実施により認知が高まったことや、スマホでの決済および画面提示で利用できる「スマホ一日乗車券」の販売による利便性向上などにより、乗車券購入者は前年度と同規模で推移し、目標値を上回る結果となっている。	・各種取組の継続的な実施により認知が高まったことや、スマホでの決済および画面提示で利用できる「スマホ一日乗車券」の販売による利便性向上などにより、順調に推移している。 ・引き続き、フリー乗車券の販売を継続する。
			夏休みこども1日フリー乗車券 の販売枚数	3,338枚 （R3）	4,500枚以上		【実績値】 4,831枚 （4,890枚） 【対象期間】 R7.4～R8.3	・夏休みこども1日フリー乗車券を販売		
		■指標3-3 公共交通利用促進イベント 等の実施回数	利用促進イベント・普及啓発 事業の開催・実施回数	3回 （R3）	年間3回以上 （R4～R8）	現況と同水準を 継続的に実施	【実績値】 6回 （6回） 【対象期間】 R7.4～R8.3	・交通エコライフキャンペーン（10/18） ・バスや鉄道の乗り方教室（小松島市、阿南市、特別支援学校4校） ・阿佐東線レールスター本線運転体験会（9/13、14、15） ・DMV運転体験会（4/18） ・クルーズ船寄港に合わせたDMV車両PR（9/16）	・県民の皆様のマイレール・マイバス意識の醸成とともに、公共交通の利用促進を図るため各種取組を実施した。 ・ICOCA導入に向け、特別支援学校での乗り方教室及び体験会を実施した。	・継続的にイベントを開催し、意識の醸成と利用促進を図った。 ・引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成と公共交通の利用促進に努める。
		■指標3-4 地域公共交通計画策定 市町村数	—	6市町村 （R3時点）	10市町村以上 （R8時点）	現況の策定数を概ね倍増	【実績値】 11市町 （10市町） 【対象期間】 R7.4～R8.3	・徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、阿波市、三好市、那賀町、つるぎ町、東みよし町、海陽町、吉野川市で法定計画を策定	・地域の実情に合わせ、持続可能な公共交通ネットワークの実現に向けた計画の策定が進められた。	・市町村による積極的な計画策定推進により目標達成。 ・引き続き、持続可能な公共交通ネットワークの実現に向け計画策定や各種取組を推進する。

幹線系統バスの系統別の利用者数

資料 3 - 2 (別紙)

No	路線	起点	主な経由地	終点	現況値 (R3)			実績値 (R6)			実績値 (R7)			目標値 (R8)	R7実績 (R6 比較)	目標値 (R8) 比較
					輸送人員 (人)	実車走行キロ (km)	利用者数 (走行台和あたり) (人/km)	輸送人員 (人)	実車走行キロ (km)	利用者数 (走行台和あたり) (人/km)	輸送人員 (人)	実車走行キロ (km)	利用者数 (走行台和あたり) (人/km)	利用者数 (走行台和あたり) (人/km)		
1	鳴門公園	徳島	大松東・田ノ浦	鳴門公園	38,363	187,297	0.20	62,091	130,363	0.48	63,895	101,411	0.63	0.27以上	増	○
2	鳴門下板	徳島	大松東・東発・教育大	ウチノ海	61,019	104,567	0.58	88,839	101,143	0.88	92,476	100,631	0.92	0.78以上	増	○
3	鳴門下板	徳島	老門・空港・東発	ウチノ海	35,007	115,174	0.30	41,925	107,910	0.39	50,980	107,493	0.47	0.41以上	増	○
4	鳴門下板	徳島	老門・東発	ポートレース鳴門	75,445	154,325	0.49	83,594	156,562	0.53	102,863	157,309	0.65	0.65以上	増	○
5	鳴門上板	徳島	フジグラン・立道	ポートレース鳴門	53,640	138,434	0.39	68,731	138,290	0.50	72,004	138,674	0.52	0.52以上	増	-
6	鳴門藍住	ゆめタウン	フジグラン・空港	鳴門公園	10,000	129,176	0.08	9,489	43,280	0.22				0.10以上		
6'	鳴門公園	徳島	大松東・松茂・空港	鳴門公園				48,789	99,673	0.49	37,457	149,808	0.25		減	
7	グリーンタウン	徳島	フジグラン・グリーンタウン	吉野川病院	14,610	47,523	0.31	21,095	47,653	0.44	26,683	47,523	0.56	0.41以上	増	○
8	鍛冶屋原	徳島	フジグラン・板野	鍛冶屋原	46,736	146,992	0.32	69,747	150,775	0.46	62,518	150,337	0.42	0.42以上	減	-
9	名田橋	徳島	不動・ゆめタウン・板野	鍛冶屋原	25,099	88,863	0.28	32,615	91,202	0.36	27,918	90,901	0.31	0.38以上	減	-
10	名田橋	徳島	不動・ゆめタウン・板野・あすたむらんど	鍛冶屋原	16,720	83,130	0.20	20,896	82,809	0.25	24,271	104,967	0.23	0.27以上	減	-
11	北島藍住	徳島	フジグラン・藍住役場	ゆめタウン	21,080	49,692	0.42	22,636	45,892	0.49	26,172	45,761	0.57	0.57以上	増	○
12	応神藍住	徳島	前川・応神・ゆめタウン	道の駅いたの	30,452	135,163	0.23	29,495	79,498	0.37	38,313	79,243	0.48	0.30以上	増	○
13	竜王団地	徳島	日開・竜王団地	フジグラン	25,065	78,174	0.32	40,588	78,780	0.52	44,223	78,494	0.56	0.43以上	増	○
14	竜王団地	徳島	不動・竜王団地	フジグラン	7,631	47,203	0.16	11,562	47,541	0.24	15,017	47,421	0.32	0.22以上	増	○
15	石井上板	徳島	石井・フジグラン・イオンタウン	鍛冶屋原	22,920	86,471	0.27	31,976	86,742	0.37				0.35以上		
16	鴨島	徳島	浦庄	西麻植	44,473	167,627	0.27	58,976	162,048	0.36	70,381	161,590	0.44	0.35以上	増	○
17	高原	徳島	フジグラン・高原	平島東	28,671	69,856	0.41	36,080	62,208	0.58	54,916	73,664	0.75	0.55以上	増	○
18	神山	徳島	延命・オロノ	神山高校	18,741	82,914	0.23	45,542	142,902	0.32	53,890	142,431	0.38	0.30以上	増	○
19	神山	徳島	石井・阿川	神山高校	27,851	75,175	0.37	37,885	75,144	0.50	48,883	74,834	0.65	0.49以上	増	○
20	佐那河内	徳島	大木南・中辺	神山高校	21,924	134,594	0.16	37,550	116,263	0.32	23,582	115,842	0.20	0.22以上	減	-
21	勝浦	徳島	長柱	横瀬西	77,005	198,891	0.39	74,719	185,492	0.40	81,154	184,731	0.44	0.52以上	増	-
22	あいさい	徳島	パイバス・日赤病院	あいさい広場	17,101	64,678	0.26	26,282	66,521	0.40	24,583	70,080	0.35	0.35以上	減	○
23	橘	徳島	小松島	橘西	128,712	336,008	0.38	174,868	341,477	0.51	167,367	291,823	0.57	0.51以上	増	○
24	丹生谷	阿南医療センター	橘営業所	川口	64,508	275,940	0.23	57,184	276,220	0.21	64,982	274,762	0.24	0.31以上	増	-
	長原	徳島	前野・航空隊	長原	22,381	60,775	0.37							0.49以上		
	神山	徳島	入田・オロノ	神山高校	23,177	112,514	0.21							0.27以上		
計					958,331	3,171,155	0.30								17	15
計 (R7運行路線ベース)					912,773	2,997,866	0.30	1,233,154	2,916,386	0.42	1,274,528	2,789,730	0.46	0.40以上		

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料3-3（提出様式）

徳島県地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
幹線系統バスの利用者数 (走行台キロあたり) 0.30人/km (R3) → 0.40人/km以上 (R8)	【公共交通の最適化】 ・地域自主運行バスの試験運行（徳島市多家良・八多地域） ・大麻町移動支援実証事業（鳴門市大麻地域） ・乗合タクシーの運行（三好市三野地域・井川地域） ・予約型乗合タクシー実証運行（阿南市岩脇地区） ・社会福祉協議会による買い物支援サービス（上板町） ・公共ライドシェア実証運行（海陽町穴喰地区） ・自動運転タクシーの実証運行（徳島県（鳴門市・松茂町）） 【利便性の向上】 ・キャッシュレス決済サービスの導入推進 ・ノンステップバスの導入推進 ・駅の公衆トイレ、待合施設などの整備 【利用促進】 ・各種企画乗車券の販売 ・バスや鉄道の乗り方教室 ・「交通エコライフキャンペーン」の実施	バス事業者の実績報告	・0.46人/km(R6.10～R7.9) ・各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、幹線系統バスの各系統別の利用者数は大きく回復し、目標値を上回ると共に、コロナ前の水準以上の結果で着地している。	・利用者数は各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、コロナ前の水準以上まで回復している。 ・しかし、燃油物価高騰などによる影響もあり、公共交通の最適化の取組などに努めたものの厳しい収支状況が続いている。 ・持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保のため、路線バスの利用実態を踏まえた再編を行うとともに、引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成などの利用促進や利便性向上などの取組を継続して実施し、さらなる利用者数の増加による数値の改善を目指す。	
幹線系統バスの事業収支 36% (R3) → 53%以上 (R8)		バス事業者の実績報告	・50% (R6.10～R7.9) ・利用者数は増加傾向にあり、運賃改定による収入も増加しているが、燃油物価高騰などにより支出額は高止まりしている。公共交通の最適化に努めたものの厳しい収支状況が続いている。		
幹線系統バスへの公的資金投入額 561百万円 (R3) → 409百万円以下 (R8)		補助金申請書類等	・452百万円 (R6.10～R7.9) ・利用者数はコロナ前の水準以上となり、公的資金投入額は改善しているものの、燃油物価高騰などの影響により厳しい収支状況が続いている。		
幹線系統バスの利用者数 (走行台キロあたり、系統別)	【利用促進】 ・各種企画乗車券の販売 ・バスや鉄道の乗り方教室 ・「交通エコライフキャンペーン」の実施	バス事業者の実績報告	・別紙参照 (R6.10～R7.9) ・各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、幹線系統バスの各系統別の利用者数は大きく回復し、目標値を上回ると共に、コロナ前の水準以上の結果で着地している。	・利用者数は各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、コロナ前の水準以上まで回復している。 ・持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保のため、路線バスの利用実態を踏まえた再編を行うとともに、引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成などの利用促進や利便性向上などの取組を継続して実施し、さらなる利用者数の増加による数値の改善を目指す。	
幹線系統バスによる広域移動者数 2,300人 (R3) → 3,100人以上 (R8)	【利便性の向上】 ・キャッシュレス決済サービスの導入推進 ・ノンステップバスの導入推進 ・交通マップの改定作業 ・タクシー配車アプリの普及推進及び、空港ビル前予約タクシー乗り場案内サインの整備 【利用促進】 ・各種企画乗車券の販売 ・バスや鉄道の乗り方教室 ・「交通エコライフキャンペーン」の実施	バス事業者の実績報告	・2,565人 (R6.10～R7.9) ※R3実績：2,252人 R4実績：2,297人 R5実績：2,647人 R6実績：2,535人 ・各種取組の実施などにより全体の利用者は回復基調であるものの、昨年度比較で利用者は横ばい。	・利用者数は各種取組の実施やインバウンドをはじめとする人流活性化により、コロナ前の水準以上まで回復しているものの、目標値には到達していない。 ・引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成などの利用促進や乗継環境向上などを継続して実施する。	
フィーダー系統の鉄道、幹線系統バスへの接続便数 53便 (R3) → 70便以上 (R8)	・交通結節点を通するコミバスの便数の増加 ・幹線系統バスの運行ダイヤの改正 ・鉄道におけるパターンダイヤ、タクトダイヤの継続実施 ・「徳島県南部における共同経営計画」に基づく鉄道とバスの共同経営 ・JR牟岐線（牟岐駅～阿波海南駅間）におけるモーダルミックスによる通学利便性向上施策	交通事業者の時刻表	・接続便数：68便（R8.4月時点） ・平均待ち時間：24分（R8.4月時点） ・利便性向上に向けた運行ダイヤの調整や運行経路の見直しを実施したが、幹線バスやコミバスの再編も影響し大幅な改善はなかった。	・運行ダイヤの調整をはじめ、引き続き利用者の利便性向上に向けた取組を実施する。	
乗り継ぎの平均待ち時間 22分 (R3) → 20分以内 (R8)		交通事業者の時刻表			
新たな運行形態の導入件数 3件 (R3) → 累計10件以上 (R8)	・地域自主運行バスの試験運行（徳島市多家良・八多地域） ・大麻町移動支援実証事業（鳴門市大麻地域） ・乗合タクシーの運行（三好市三野地域・井川地域） ・予約型乗合タクシー実証運行（阿南市岩脇地区） ・社会福祉協議会による買い物支援サービス（上板町） ・公共ライドシェア実証運行（海陽町穴喰地区） ・自動運転タクシーの実証運行（徳島県（鳴門市・松茂町））	関係機関への取組状況調査	・22件（累計：R4.4～R8.3） ※R4実績：3件 R5実績：6件 R6実績：7件 R7実績：6件 ・地域の実情に合わせた運行形態の導入や新たな実証運行が実施された。	・新たな運行形態の導入等が順調に行われている。 ・各地域で実施されている運行形態を関係者間で共有し、地域にあった取組の実施に繋げる。	

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
キャッシュレス決済の利用プロジェクト件数 3件 (R3) → 累計5件以上 (R8)	- 乗降時のキャッシュレス化による、利便向上を目的として、交通系ICカードICOCAを導入。(徳島バス・徳島バス南部・徳島市交通局) - 鳴門市地域バスにPayPayによる二次元コード決済を導入し、利用者の利便性を向上させる。 - 顔認証技術を活用した高齢者移動助成券のデジタルチケット化の運用実証を実施。(石井町)	関係機関への取組状況調査	7件 (累計: R4. 4～R8. 3) ※R4実績: 2件 R5実績: 1件 R6実績: 1件 R7実績: 3件 - 導入以降順調に利用率が伸びており、スムーズな降車による、停車時間の短縮などの効果があった。 - 各種紙式乗車券からの切り替えや乗継割引の充実など、利用者利便と運賃収受の効率化の両立を実施。 - 令和7年度の利用者総数は345人。(鳴門市)	- 利用状況のデータ化により、これまでより利用実態が鮮明にわかるようになったことで再編等に生かしていく。 - ICOCAのマイナンバー連携について各自治体に働きかけ、利用率の向上を図る。 - 引き続き、利用者の利便性向上に繋がるキャッシュレス決済の導入に向けた研究を継続する。 - 地域バス利用者に対してキャッシュレス決済導入の周知と普及活動に努める。	
交通結節点の整備実施箇所数 6箇所 (R3) → 累計25箇所以上 (R8)	- 交通マップの改定作業 (小松島市、阿南市、鳴門市) - タクシー配車アプリの普及推進及び、空港ビル前予約タクシー乗り場案内サインの整備 (徳島県、徳島空港ビル)	関係機関への取組状況調査	25箇所 (累計: R4. 4～R8. 3) ※R4実績: 6箇所 R5実績: 12箇所 R6実績: 3箇所 R7実績: 4箇所 - 交通マップの改善やタクシー配車アプリの普及推進等による二次交通の改善により、利便性の向上につながった。	- 交通結節点の整備が順調に実施されている。 - 引き続き、利便性向上に向けた取組を推進する。	
情報提供におけるシステム実装率 100% (R3) → 100% (R8)	ダイヤ改正や路線変更にあわせ、オープンデータ情報を更新	関係機関への取組状況調査	100% (R7. 4～R8. 3) - 利用者の混乱を招かないよう、ダイヤ改正や路線変更などがあった場合は、オープンデータ情報の更新が適切に行われた。	- オープンデータ情報の更新が順調に実施されている。 - 引き続き、適切に情報を更新する。	
ノンステップバスの導入割合 80% (R3) → 90% (R8)	ノンステップバス車両を導入	事業者への聞き取り	92.2% (R7. 4～R8. 3) - 利用者の利便性向上を図るため、ノンステップバスの導入が進められた。	- ノンステップバスの導入が順調に実施されている。 - 引き続き、ノンステップバスの導入を推進する。	
訪日外国人観光客向けフリー乗車券の販売枚数 4枚 (R2) → 410枚以上 (R8)	訪日外国人観光客向けフリー乗車券 (TOKUSHIMA BUS PASS) を販売	事業者への聞き取り	1,037枚 (R7. 4～R8. 3) - 国際定期便の就航などによる訪日外国人旅行者の増加に伴い販売枚数も増加したと考えられる。	- 国際定期便の就航などによる訪日外国人旅行者の増加により、順調に推移している。 - 訪日外国人観光客向けフリー乗車券の販売を継続する。	
企画乗車券等の販売枚数 1日フリー乗車券 6,128枚 (R3) → 8,300枚以上 (R8) 夏休み子ども1日フリー 3,338枚 (R3) → 4,500枚以上 (R8)	1日フリー乗車券を販売 - 夏休み子ども1日フリー乗車券を販売	事業者への聞き取り等	1日フリー乗車券19,026枚 (R7. 4～R8. 3) - 夏休み子ども1日フリー乗車券4,831枚 (R7. 4～R8. 3) - 各種取組の継続的な実施により認知が高まったことや、スマホでの決済および画面提示で利用できる「スマホ1日乗車券」の販売による利便性向上などにより、乗車券購入者は前年度と同規模で推移し、目標値を上回る結果となっている。	- 各種取組の継続的な実施により認知が高まったことや、スマホでの決済および画面提示で利用できる「スマホ1日乗車券」の販売による利便性向上などにより、順調に推移している。 - 引き続き、フリー乗車券の販売を継続する。	
公共交通利用促進イベント等の実施回数 3回 (R3) → 年間3回以上 (R8)	- 交通エコライフキャンペーン (10/18) - バスや鉄道の乗り方教室 (小松島市、阿南市、特別支援学校4校) - 阿佐東線レールスター本線運転体験会 (9/13、14、15) - DMV運転体験会 (4/18) - クルーズ船寄港に合わせたDMV車両PR (9/16)	関係機関への取組状況調査	6回 (R7. 4～R8. 3) - 県民の皆様のマイレール・マイバス意識の醸成とともに、公共交通の利用促進を図るため各種取組を実施した。 - ICOCA導入に向け、特別支援学校での乗り方教室及び体験会を実施した。	- 継続的にイベントを開催し、意識の醸成と利用促進を図った。 - 引き続き、マイレール・マイバス意識の醸成と公共交通の利用促進に努める。	
地域公共交通計画策定市町村数 6市町村 (R3) → 10市町村以上 (R8)	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、阿波市、三好市、那賀町、つるぎ町、東みよし町、海陽町、吉野川市で法定計画を策定	関係機関への取組状況調査	11市町 (R7. 4～R8. 3) - 地域の実情に合わせ、持続可能な公共交通ネットワークの実現に向けた計画の策定が進められた。	- 市町村による積極的な計画策定推進により目標達成。 - 引き続き、持続可能な公共交通ネットワークの実現に向け計画策定や各種取組を推進する。	